

安全の為に必ずお守りください

警告

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルト、ナット等が緩んだり、製品が破損しますと、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- CS-M771-10 は MTB10 段用チェーンと組み合わせてご使用ください。
- 車輪の回転が重くなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。

ご使用方法

SI-3TG0A-002

FH-M785 / HB-M785
FH-T780 / HB-T780

フリーハブ / フロントハブ

仕様

フリーハブ / フロントハブ

モデルナンバー	フリーハブ		フロントハブ	
	FH-M785	FH-T780	HB-M785	HB-T780
スピード	10		—	
スポーク穴数	32 / 36		32 / 36	
オーバーロックナット寸法	135 mm		100 mm	
対応ブレーキ	ディスクブレーキ	リムブレーキ	ディスクブレーキ	リムブレーキ

カセットスプロケット歯数構成

モデルナンバー	グループ名	スピード	歯数構成
CS-M771-10	bJ	10 段	11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, 26, 30, 34T
	bK	10 段	11, 13, 15, 17, 19, 21, 24, 28, 32, 36T
	bL	10 段	11, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 25, 28, 32T
CS-6700	—	10 段	11, 12, 13, 14, 15, 17, 19, 21, 24, 28T

※ RD-M780 は、CS-6700 (11-28T) と組み合わせてご利用いただけません。
 ※ RD-T780 は、CS-M771-10 (11-36T) と組み合わせてご利用いただけません。

* 取扱い説明書は以下にてご覧いただけます。 <http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。



お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

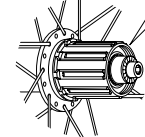
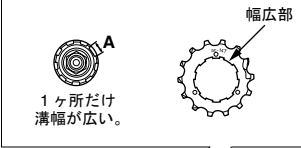
株式会社 シマノ

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

〈FH-M785 / FH-T780〉

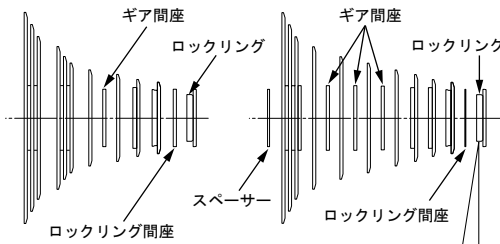
HG ギアの取付け

各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部の A 部（溝幅が広いところ）とギアの凸部の広いところをあわせてセットしてください。



〈CS-M771-10〉
(bJ) 11 - 34T
(bK) 11 - 36T
(bL) 11 - 32T

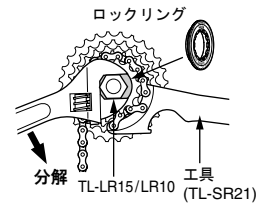
〈CS-6700〉
11 - 28T



HG ギアの取付けは専用工具 (TL-LR15/LR10) でロックリングを締め付けます。

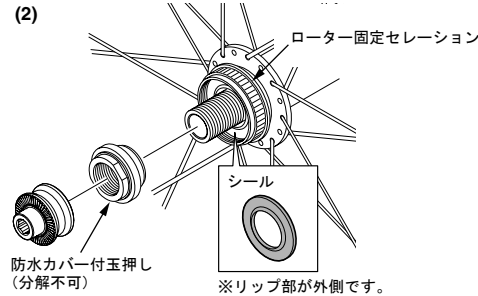
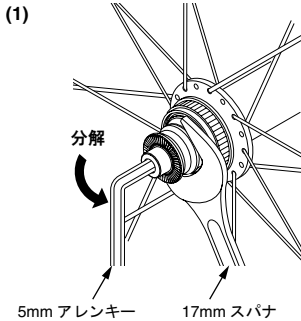
締め付けトルク：
30 - 50 N・m {300 - 500 kgf・cm}

HG ギアの交換は専用工具 (TL-LR15/LR10) と TL-SR21 でロックリングを取り外します。

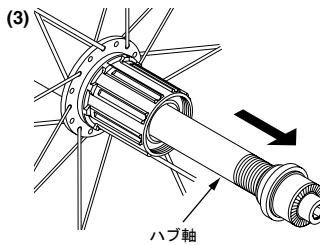


フリーホイール部の交換

最初に図の手順でハブ軸を抜き取ってください。(FH-M785) フリーホイール部側のダブルロック部は分解できません。



左側締め付けトルク：
15 - 20 N・m {150 - 200 kgf・cm}



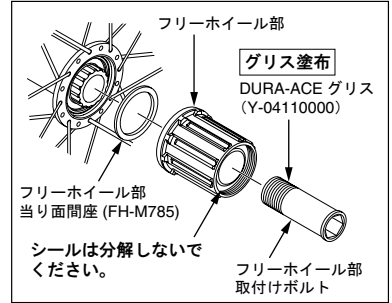
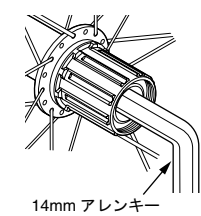
ご注意：

- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組みつけてください。
- 玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- FH-M785 にディスクブレーキローターを装着しない場合はローター固定セレーション部が傷つく恐れがありますので同梱のローターマウントカバーを装着して使用してください。

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付けボルトを取り外し、フリーホイール部を交換してください。

ご注意：

ゆるみやかじりつきの原因になりますので、フリーホイール部取付けボルトのねじ部には必ずグリスを塗布してください。フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。



締め付けトルク：
45 - 50 N・m {450 - 500 kgf・cm}

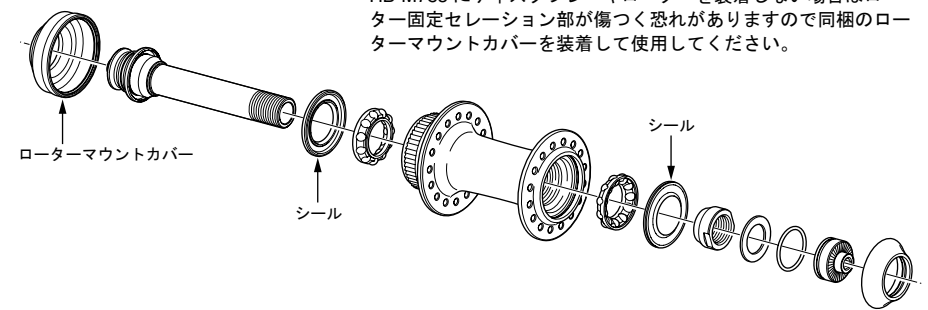
〈HB-M785〉

メンテナンス

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。

ご注意：

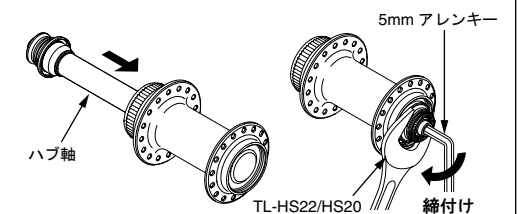
- HB-M785 はハブ体左側（ローター固定セレーション側）からの分解はできません。
- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組みつけてください。
- HB-M785 にディスクブレーキローターを装着しない場合はローター固定セレーション部が傷つく恐れがありますので同梱のローターマウントカバーを装着して使用してください。



〈組立〉

図のようにハブ軸を取付け専用工具 (TL-HS22/HS20/17mm) と 5mm アレンキーを使用してロックナットを締め付けダブルロックしてください。

締め付けトルク：
15 - 17 N・m {150 - 170 kgf・cm}

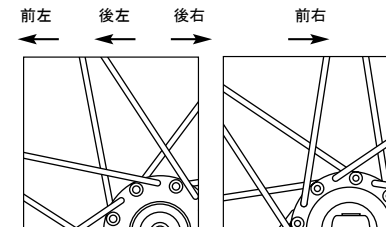


〈FH-M785 / HB-M785〉

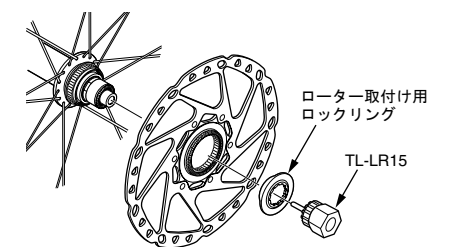
車輪のスポークの編み方

スポークが図のように組まれていることを確認してください。ラジアル組は不可。

車輪回転方向



ローターの取付け



締め付けトルク：
40 - 50 N・m {400 - 500 kgf・cm}